

## 業務を止めない 傾斜・段差修正

### コンクリート土間床を壊さず 水平に戻します

#### 工事手順

- STEP 1** 床の傾斜を計測後、修正箇所1円玉より小さい注入孔(直径16mm)をあける。
- STEP 2** テラテック樹脂をコントロールしながら注入。樹脂の膨張力で床を上へ押し上げる。
- STEP 3** ミリ単位の精度で管理して床を修正。床の水平レベルを確認。

### 工事終了直後に 大型トラックが通っても大丈夫!!

#### 工事の特長

- 建物・床を解体しないので静かな現場
- 水を使わないので商品や機械を汚さない
- 休日・夜間も工事が可能
- 短時間で工事が終了
- 狭い範囲でも施工が可能

### 工事による業務停止時間 「ゼロ」の提案

業務停止の要因	コンクリート打ち替え	
商品や機械の撤去、移動	3日	合計 <b>30日</b> ※500㎡~1000㎡の 打ち替え工事想定
業務停止、製造ラインの停止	20日	
撤去した商品や機械の再設置、調整	5日	
養生期間	2日	

「傾斜した」「たわんだ」「沈下した」コンクリート土間床下に膨張性のある特殊ウレタン「テラテック樹脂」を注入し、樹脂の膨張力でコンクリート土間床を押し上げて修正します。修正はミリ単位の精度で管理。200~300㎡なら1日で施工することが可能です。



これまで、コンクリート土間床の傾斜修正は新しく打ち替える工事が主流でした。でもこの工事は床を壊し、商品や機械を撤去後、新しい床をつくるまで業務を止めなければなりません。また、施工範囲の生産力を無くし、商品や機械の移動、新しい置き場の確保なども必要になり、工事後の再設置まで含めると30日ほど業務を停止しなければなりません。当社の工法ならこの30日間の業務停止時間を「ゼロ」にすることができます。

#### テラテック工法

業務停止時間

**0日**



## テラテック工法ならではの 短期間工事

### コンクリート土間床の傾斜

コンクリート土間床が傾斜してしまったことによる様々な問題を「業務を止めず」に解決します。

- 倉庫**
  - 商品棚が傾きフォークリフトのツメが入らない
  - 自動搬送機が停止してしまう
  - 商品の高積みができない
- 工場**
  - 機械の水平が取れない
  - 機械の振動が大きくなった
  - 台車が勝手に動いてしまう
- 店舗**
  - ショッピングカートが勝手に動いてしまう
  - 商品棚がまっすぐにならない
  - お客様が不自然につまづく
- 学校**
  - 教室の机や椅子がガタガタ音をたてる
  - 体育館のドアの開閉に支障が出ている



施工前

北海道のホームセンター。写真の中央部が35cmほど下がっています。商品を見ている間にショッピングカートがひとりでに動いていました。



施工後

約5000㎡の沈下を実質19日間の夜間施工で、業務を止めることなく水平に戻しました。

### コンクリート土間床にできた段差

地盤沈下によってできた段差。お客様や従業員の安全のために早急に解決します。

- 倉庫**
  - コンクリート通路のジョイントに段差
  - フォークリフトがコンクリートジョイントを通るたびにガタガタ音がる
- 工場**
  - ピット、機械まわりのコンクリートが沈下、境目に段差ができた
  - 品物を運ぶ通路に段差ができ効率が落ちた
- 店舗**
  - 段差にお客様がつまづく危険性がある
  - ショッピングカートが段差に引っかかる
- 病院**
  - 患者さんが段差につまづく危険性がある
  - 車いすの通行が困難だ



施工前

茨城県の工場。300tあるプレス機の基礎部分と周囲のコンクリート土間床に段差が生じていました。この危険な段差の解消が第一の目的でした。



施工後

実質2日間の工事でおおよそ90mmあった段差を解消し、他エリアのコンクリート土間床のたわみも軽減しました。